

平成 23 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 山 武
 代表者名 代表取締役社長 小野木 聖二
 (コード番号 6845 東証第1部)
 問合せ先 執行役員管理部長 山本 晃義
 (TEL. 03-6810-1009)

平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 23 年 7 月 29 日に公表しました平成 24 年 3 月期 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日) の第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と実績値との差異 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	102,000	3,500	3,300	1,500	20.31
今 回 実 績 (B)	103,253	4,706	4,670	2,447	33.14
増 減 額 (B - A)	1,253	1,206	1,370	947	
増 減 率 (%)	1.2	34.5	41.5	63.2	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	99,323	3,792	3,664	1,285	17.40

2. 修正の理由

アドバンスオートメーション (AA) 事業において、売上はほぼ予想通りでしたが、売上原価率の改善と販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、利益は予想を上回ることができました。またライフオートメーション (LA) 事業において、株式会社金門製作所で、東日本大震災と原子力発電所事故からの迅速な生産体制の回復が図られ、その影響を想定より軽微に抑えることができたことに加え、水道事業の利益率改善が進みました。以上の状況から、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益のいずれも前回発表予想を上回りました。

以 上